

近畿学校保健学会通信

No.84

平成8年5月2日発行
近畿学校保健学会事務所
〒520 大津市平津2丁目5-1
滋賀大学教育学部健康学研究室内
TEL 0775-37-7795.7726
振替口座 01060-1-77589

第43回 近畿学校保健学会案内

(下記のように、学会を開催します。関心のある方は、どなたでも参加できます。)

主催	近畿学校保健学会	協賛	大阪府医師会
後援	大阪府教育委員会		大阪府歯科医師会
	大阪府教育委員会		大阪府薬剤師会

会 長 一 色 玄 (大阪市立大学医学部 教授)

事務局長 松 岡 収 (大阪市立大学医学部 講師)

〒545 大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪市立大学医学部小児科学教室

第43回近畿学校保健学会事務局

TEL 06-645-2126

FAX 06-646-5862

郵便振替(口座番号) 00990-2-308841

(名 称) 第43回近畿学校保健学会事務局

日 時 平成8年6月8日(土) 9:00~16:45

会 場 大阪市立大学(杉本学舎)田中記念館、講堂、法学部棟大教室
大阪市住吉区杉本3-3-138

当日の連絡先 TEL & FAX : 06-605-2840

(大阪市立大学生生活科学部発達保健学講座)

会 費 正 会 員 : 年会費 3,000円(既納者は不要)

当日会員 : 参加費 2,000円(資料代を含む)、(学生 1,500円)

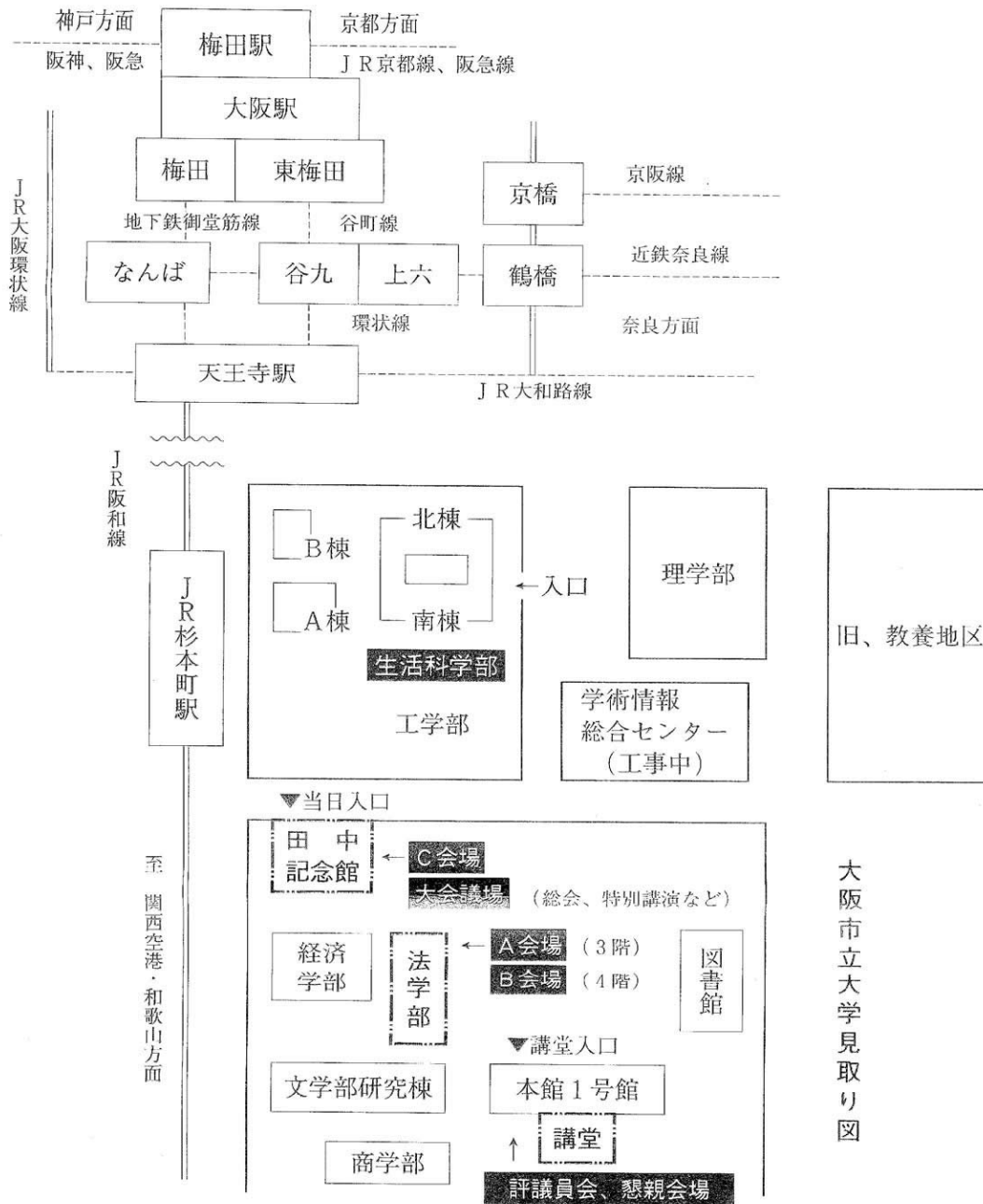
評 議 員 : 評議員会に出席の場合は昼食代1,500円をいただきます。

懇親会費 : 5,000円 (大阪市立大学、講堂)

学会場の案内

天王寺駅より「J R 阪和線」普通電車で約12分、杉本町駅（市立大学前）下車すぐ

市立大学への交通アクセスと周辺地図



※宿泊施設は、天王寺駅周辺にホテル（都ホテル、エコーホテルなど）があります。

※クルマでのご来場は、できるだけご遠慮下さい。

当日、大学構内には駐車するスペースがほとんどありません。

運営についてのご連絡

○参加者へ

1. 受付

- (1) 会費既納者……受付で府県名、氏名をお申し出て頂き、名札をお受け取りください。
- (2) 会費未納者……受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属をご記入のうえ、会費 3,000円をお納めください。
- (3) 当日会員……当日会員受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属をご記入の上、会費 2,000円（学生は 1,500円）をお納めください。

2. 名札と昼食

- (1) 名札には、氏名・所属を記入し、会場では必ず着用ください。
- (2) 昼食は、周辺の食堂などを利用ください（大学内生協は休業）。
若干の弁当、お茶を用意しますので、当日、ご利用ください（弁当 1,000円）。
- (3) 当日、受付にて懇親会の申し込みを受け付けております（5,000円）。
どうぞ、ご参加ください。
- (4) 評議員会の出席の方は、昼食代1,500円を別途お支払いの上、弁当引換券をお受け取りください（評議員会の会場に準備しています）。

3. 当日の連絡方法

当日は、会場内での連絡、電話の取次などは行いませんので、「受付」近くの連絡ボードを、ご自由にご利用ください。

ただし、FAXや電話メモについては連絡ボードに掲示します。

連絡先……生活科学部発達保健学講座宛

TEL & FAX 06-605-2840

○発表者へ

- (1) 前演者の口演が始まると同時に、前方の次演者席にご着席ください。
- (2) 発表時間は8分間、討論時間は4分以内です。
7分で1回、8分で2回ベルを鳴らしますので、時間厳守をお願いします。
- (3) 配布資料およびスライドなどがある場合には、発表30分前までに各会場の受付に提出してください。

○座長へ

- (1) 前座長の登壇後、前方の次座長席に着席ください。
- (2) 受持時間内の進行は座長にご一任しますが、1題あたり12分以内で進行をお願いします。
- (3) 恒例により、後日「学会通信」用の座長のまとめをお願いします。

○懇親会参加者へ

懇親会場は講堂です（立食パーティ形式で行います）。

17:00に始める予定ですので、多数の方々のご参加をお願いします。

日 程

9 : 00	受付開始 田中記念館、展示室（大会議場前）
9 : 25	一般口演 A会場：大会議室（法学部棟、3階730教室） B会場：大講義室（法学部棟、4階740教室） C会場：田中記念館、第2会議室（2階）
12 : 13	昼食、休息
12 : 20	評議員会：講堂 （昼食を兼ねる）
13 : 10	休息
13 : 20	総会：田中記念館、大会議場（メインホール）
14 : 00	休息
14 : 10	特別講演：田中記念館、大会議場（メインホール） 講 師：倉戸ヨシヤ先生（大阪市立大学臨床心理学教授）
14 : 50	休息
15 : 00	シンポジウム：田中記念館、大会議場（メインホール） 「慢性疾患の管理を巡って～医療機関と学校の連携～」 シンポジスト：堀内康生先生（大阪教育大学教授） 赤野則久先生（近畿大学医学部小児科講師） 藤田敬之助先生（大阪市総合医療センター小児内科部長）
16 : 45	懇親会場へ移動
17 : 00	懇 親 会：講堂
19 : 00	

第43回近畿学校保健学会プログラム

1-A. 一般演題(1)

A会場：大講義室(法学部棟、3階730教室) 9:25~12:13

検診(9:25~10:13) 座長 山本公弘(奈良女子大学)

A01. 大阪市における学校心臓検診-3次検診-2年間の経験

○鈴木嗣敏、江原英治、杉本久和、村上洋介(大阪市立総合医療センター小児循環器内科)、
村田良輔(同、小児内科)

A02. 当院における学齢期腎生検症例の検討

○中川喜美子、栗政浩子、辻淳、石井武文、藤田敬之助、村田良輔(大阪市立総合医療センター
小児内科)、井上健、小林庸次(同、病理検査科)

A03. 試験紙法による尿比重測定-中学生と小児糖尿病児を対象として-

○平野久美子、新平鎮博(大阪市立大学生生活科学部)

A04. 歯列不正の増加に対する小学校の対応

○斉藤太、松浦賢長(京都教育大学衛生学研究室)

精神保健(10:13~11:01) 座長 金井秀子(京都文教短期大学)

A05. 学校精神保健相談内容の実状と問題点

○北村陽英(奈良教育大学)

A06. 一貫した人間教育実践への地域保健と学校保健の連携

○岩本スミ子(堺市立百舌鳥小学校)

A07. バウムテストからみた夜尿症児童の発達課題について

○小林豊生、宮裕昭、野原靖士(京都府立医大精神科)、河内明宏、渡部決(同、泌尿器科)、
金井秀子(京都文教短期大学)

A08. 心身症児童に対するメンタルフレンドの役割

○栗本美保子、杉尾裕子、堺純子、大城真澄、中上美緒、芳賀さやか、藤井みお、松下水奈、
生野昭子(神戸女学院大学人間科学部)

保健室(1)(11:01~11:37) 座長 西牧謙吾(堺市宿院保健所)

A09. 大阪府救急医療情報センターの実績~学童児の照会集計~

○浅田稔(大阪市立大学医学部小児科)、鶴原常雄(大阪府救急医療情報センター)、新宅治夫、
松岡収、岡野善行、一色玄(大阪市立大学医学部小児科)、藤野俊夫、大北昭(大阪府救急医
療情報センター)

A10. 慢性疾患(小児糖尿病)と養護教諭~電話によるアンケート~

○田中克子(大阪府立看護大学)、上原優子、西牧謙吾(堺市衛生部)

A 1 1. 「いじめ」対応における養護教諭・保健室の役割

○菊池美奈子（大阪府立池田高校）、三原和子（大阪府立守口東高校）、徳山美智子（大阪府立桜塚高校）、中村昭代（大阪府立今宮高校）、岸紘子（大阪府立牧野高校）、池川典子（大阪府立藤井寺高校）、山本イズ子（金襴短期大学）、北垣ひなこ（東大阪市立金岡中学校）

保健室（2）（11：37～12：13） 座長 徳山美智子（大阪府立桜塚高校）

A 1 2. 週休2日制・休日明けと保健室の役割について

○水野尚美（大阪府立福井高校）、辻立世（大阪府立鳥飼高校）

A 1 3. 新入生のこころの健康調査と学校へ行きたくないと思った者に対する一考察

○辻立世（大阪府立鳥飼高校）

A 1 4. 新入生のこころの健康調査といじめられ体験に関する一考察

○辻立世（大阪府立鳥飼高校）

1-B. 一般演題（2）

B会場：大講義室（法学部棟、4階740教室）9：30～12：06

環境、易疲労性（9：30～10：06） 座長 武田真太郎（和歌山県立医大看護短期大学部）

B 0 1. 児童・生徒の教室内空気環境に対する感覚

○古田肇子、美馬信、岡崎延之（大阪女子短期大学）

B 0 2. 女子短大生における性格傾向と易疲労性について

○美馬信、北村由美（大阪女子短期大学）

B 0 3. 男子学生における自覚疲労現象の因子構造に関する研究（2）

○阿部昌宏、大山良徳（大阪工業大学）

エイズ、性教育、保健教育（1）（10：06～10：42） 座長 勝野真吾（兵庫教育大学）

B 0 4. エイズ、性教育教材の試作研究

○松岡弘（大阪教育大学）

B 0 5. 西脇市某小学校における保護者の性教育に関する知識

○長谷川ちゆ子（西脇市立重春小学校）

B 0 6. 西脇市某小学校における性教育「命のはじまり」の授業を通して

○長谷川ちゆ子（西脇市立重春小学校）

エイズ、性教育、保健教育（2）（10：42～11：18） 座長 松岡弘（大阪教育大学）

B 0 7. コンピュータ通信によるエイズ教育情報ネットワーク

○勝野真吾（兵庫教育大学）

B08. 保健の授業評価に関する調査研究

○白石龍生（大阪教育大学）、大谷峰子（刈谷市立刈谷東小学校）

B09. 身長・体重発育基準チャートの健康教育への応用－第1報－

○後和美朝（大阪国際女子大学）、白石龍生（大阪教育大学）、松本健治（鳥取大学教育学部）、
森岡郁晴、宮下和久（和歌山県立医大、衛生学）、武田眞太郎（和歌山県立医大看護短期大学部）

健康意識（11：18～12：06） 座長 北村陽英（奈良教育大学）

B10. 学齢期小児のライフスタイルと健康に関する疫学的研究（3）中学校

○永井純子、松浦尊磨、渡邊正樹、勝野眞吾（兵庫教育大学）

B11. 簡易健康調査による中学校の追跡調査

○板持紘子（滋賀大学付属中学校）、林正（滋賀大学）

B12. 高校生の健康意識に関する調査

○立石光代（夢野台高校）、川畑愛義（日本医学研）、瀬戸進（大谷大学）

B13. 児童・生徒の生死観に関する意識の実態

○井上幸子（大阪府立刀根山養護学校）、川畑愛義（日本生活医学研究所）、西田美姫子（大阪府立枚方西高等学校）、浅野寿子（大阪府立門真南高等学校）

1-C. 一般演題（3）

C会場：田中記念館、第2会議室（2階）9：30～12：06

活動量、注意機能（9：30～10：06） 座長 稲田浩（大阪市立大学医学部）

C01. 最大酸素摂取量の1週間の逐日的変化－本学女子学生の場合－

○下村尚美（神戸女子大学）

C02. カロリーカウンターによる女子短大生の身体活動量の測定

○上野奈初美、上林久雄、福本絹子（大阪成蹊女子短期大学）

C03. 女子高校生の性周期に伴う注意機能の変動について

○松本絵里子、元村直靖（大阪教育大学）

保健統計（10：06～10：54） 座長 須藤勝見（大阪教育大学）

C04. 統計からみた子どものからだ（1）

○松永かおり（大阪市立高津小学校）

C05. 統計からみた子どものからだ（2）

○松永かおり（大阪市立高津小学校）

C06. 表計算ソフトLotusによる定期健康診断結果の管理と応用（1）－基本設計－

○康海慶（神戸大学大学院教育学研究科）、阮潔、侯学鋒（同、自然科学研究科）、横尾能範（神戸大学国際文化学部）

C 0 7. 表計算ソフトLotus による定期健康診断結果の管理と応用 (2) -健康診断票の出力-

○阮潔 (神戸大学大学院自然科学研究科)、康海慶、侯学鋒 (同教育研究科)、横尾能範 (神戸大学国際文化学部)

医療と教育 (10:54~11:30) 座長 林 正 (滋賀大学)

C 0 8. 小児医療と教育 (学校教育を含む) の連携について -発達教育学の視点から-

○伊藤督夫 (元公立学校教員)

C 0 9. 全寮制肢体不自由養護学校における生徒の起因疾患、身体機能の実態と進路

○釜谷仁士、永井純子、渡邊正樹、勝野眞吾 (兵庫教育大学)

C 1 0. 当院院内学級における現状と問題点

○有松洋子 (大坂市立総合医療センターすみれ7病棟)、藤田敬之助、村田良輔 (同、小児内科)、富和清隆 (同、小児神経内科)、小土井直美 (同、小児青年精神科)、大塚信行 (同、療育相談)、長尾和子 (同、すみれ7病棟)

発育 (11:30~12:06) 南 哲 (神戸大学)

C 1 1. 学童の足と靴はこれでよいのだろうか?

○萩原一輝 (医療法人 一輝会)、南哲、田中洋一 (神戸大学発達科学部)

C 1 2. 肥満児の生活実態調査

○安地真理子、堀内康生 (大阪教育大学)

C 1 3. 学校身体計測データを利用した低身長児のチェック

○島津健三 (大阪府医師会学校医部会)

2. 特別講演: 田中記念館、大会議場 (メインホール) 14:10~14:50

「教育における心理問題」

座 長: 服部 祥子 (大阪府立看護大学教授)

【講師】大阪市立大学教授 倉戸 ヨシヤ 先生

(生活科学部臨床心理学講座、同付属児童家族相談所所長)

【講演要旨】

近年、学校現場における心理的な問題を訴える児は増加しており、不登校や拒食症だけでなく、最近はいじめがもとで自殺する児もあり、学校における心理カウンセリングの重要性が認識されています。また、今回の阪神・淡路大震災のような災害という大幅な環境変化でも心理的ケアの重要であることが改めて明らかにされました。今回、ご講演いただく倉戸ヨシヤ教授は臨床心理学講座の教授として、また、大学付属の研究機関である児童・家族相談所長として活躍されています。今回は、「教育における心理問題」について、豊かなご経験の中からご講演を頂きます。

【講師御略歴】

昭和34年に同志社大学文学部（心理学専攻）を卒業後、米国スプリングフィールド大学大学院心理学科ダイダンス専攻修士課程修了、マサチューセッツ大学教育学部大学院博士課程カウンセリング専攻修了。昭和50年に教育学博士（マサチューセッツ大学）、また、サンディエゴのゲシュタルト療法研究所より日本人として始めてディプロマを取得。マサチューセッツ大学助手、サンフランシスコ州立大学講師（兼カウンセリング・センター相談員）、イリノイ大学交換教授、甲南大学、鳴門教育大学各教授を経て、現職の大阪市立大学教授に就任。

【所属学会などの活動】

米国心理学会、日本心理学会など多くの学会に所属されて、ご活躍なさっていますが、中でも、日本臨床心理学会の理事、日本臨床心理士会の代議員なども歴任されております。また、「ゲシュタルト療法」に関する著書など数多くあります。専門家養成の大学院における後進の指導だけでなく、大学付属の児童家族相談所所長、大阪府教育センター専門相談員として、実際の相談にも多数携わっておられ、幅広く活躍されております。

3. シンポジウム：田中記念館、大会議場（メインホール）15：00～16：40

座長 一 色 玄（大阪市立大学医学部教授）

「慢性疾患の管理を巡って～医療機関と学校の連携～」

シンポジスト

1. アレルギー疾患（喘息を含む） 堀内 康生 先生（大阪教育大学教授）
2. 腎疾患 赤野 則久 先生（近畿大学医学部小児科講師）
3. 内分泌疾患（低身長、糖尿病など） 藤田敬之助 先生（大阪市総合医療センター小児内科部長）

【趣旨】

近年の医学の進歩とともに疾病構造が変わり、治療するというより管理していく慢性疾患が増えてきました。このような慢性疾患は、従来の制限多い学校生活から、最近ではむしろ、慢性疾患を持ちながらも有意義な学校生活（QOL）が重視されるようになってきました。そのためには医療機関と学校との連携が必要です。今回のシンポジストには、学校の現状や要望をふまえて話題提供をお願いしておりますが、疾患別の講演だけでなく、例えば、慢性疾患児の心理面や養護教諭、学校教員の観点など、学校保健の様々な立場でコメントを頂き、慢性疾患の管理のあり方について考える機会としたいと思います。

なお、シンポジストの先生には、特に、慢性疾患に経験豊かであり、しかも学校保健に見識ある先生であり、コメントは、現場でご活躍の先生方をお願いしております。

平成8年度会費納入について

平成8年度年次学会での研究発表は共同発表者を含めて会員でないと発表できませんので、入会を希望される方および発表者は平成8年度会費3,000円を学会事務所まで納入されますようお願いいたします。

郵便振替口座 01060-1-77589

平成8年度 近畿学校保健学会総会

近畿学校保健学会会員各位

学会幹事長

会則第16条により下記のように学会総会を開催しますので会員各位の参加を要請します。

記

1. 日 時 平成8年6月8日(土) 13:20 ~ 14:00
2. 場 所 大阪市立大学 杉本学舎 田中記念会館メインホール
3. 議 案
 - (1) 会務報告
 - (2) 平成7年度決算について
 - (3) 会計監査報告について
 - (4) 平成8年度予算案について
 - (5) 名誉会員について
 - (6) 次期学会開催地および会長について
 - (7) 平成8・9年度役員改選について
 - (8) その他

以上

近畿学校保健学会第2回幹事会記録

- 日 時 1996年4月6日(土) 14:00~
- 場 所 大阪市立大学医学部付属病院 F18会議室
- 出席者 20名(金井、八木、上延、大山、後藤、松岡弘、堀内、一色、
須藤、勝野、横尾、川畑、山本、北村、武田、松岡勇、
猪尾、石樽、板持、林)

議 題

1. 第43回学会プログラムについて
2. 評議会、総会の議題
(会務報告、平成7年度決算・会計監査報告、平成8年度予算案、平成8・9年度新評議員の確認)
について審議し了承された。